

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

<b>事業所名</b>	グリーンビュー鯉山
日付	平成16年12月13日
<b>評価機関名</b>	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院での痴呆性高齢者の看護・介護業務歴 17年 居宅介護支援事業所等での痴呆性高齢者介護歴 3年
<a href="#">自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）</a>	
<a href="#">評価項目の内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）</a>	
<b>事業者のコメントを見る</b> （評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）	

### 外部評価の結果

<b>講評</b>
全体を通して（特に良いと思われる点など）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に明るく、職員、利用者、共に目が生き生きして活気があり、生活を楽しんでいるという感じがしました。</li> <li>・グループホームの目標・理念を常に話し合い、月に1回、職員の身だしなみ、言葉使い等を相互チェックし合い、評価を高めていました。</li> <li>・医療的な面にも力を入れるとともに、リハビリ体操も取り入れ、入居者も楽しみながら取り組んでいました。</li> <li>・週1回、生活の中に作業療法士による音楽と体操にリハビリ体操も取り入れ、利用者がごく自然に参加できるように考え実行していました。</li> <li>・毎月15日、フットケア、アロマテラピー、メイク、サイドバスなどに取り組まれ、入居者も楽しみながら活動されており、若々しく映りました。</li> <li>・緊急時の対応が、日頃の勉強の成果で、スムーズに行っていました（既に2件の利用者の緊急搬送が有り）。</li> <li>・オープンして半年ですが、内容が充実しており、ヘルパー実習やボランティアの訪問も積極的に受け入れてられます。また、職員にも刺激があり、質の向上を目指して、介護福祉士の資格を取得しようとするなど意欲がうかがえました。</li> </ul>
特に改善の余地があると思われる点
<p>今は全てが新しく挑戦する気持ちが大きいにあります。その気持ちを大切に、これからも常に初心を忘れず、気づきと話し合い、勉強を行い、マンネリ化しない様に、サービスの質の向上を目指し取り組んでいきたいと思えます。</p>

### 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か ・グループホームとして、地域との交流を深め、開かれたグループホームを目指し、ごく自然にゆったりとした生活ができるように考えていました。 ・今後は、施設以外の方も参加できる勉強会、他施設との交流もしていきたいとのことでした。		

### 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周や空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か ・グループホーム内には、優しい静かな音楽を流し、心が和むよう工夫していました。 ・畳、ソファ椅子、テーブルも何時でも使用できるように設置しており、寝転がり足を伸ばしたりお話をさせていました。 ・玄関を入ってすぐに、ソファがあり、会話がそこでできたり、郵便、小包なども受け取ることができるようにしてありました。		

### ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のベースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

### ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か ・本人の過去の経験を大切にするために、スタッフとも話し合い、プライバシーについては、他の利用者の前では、話さないように支援しています。 ・プライバシー保護のために、個人のことは訪室した時に話題として話すように心掛けています。 ・入室の際には、チャイムを鳴らし、同意を得て一呼吸おいて入るようにしています。 ・入浴時、オシメ交換の時にも、辱め無いように配慮しています（男性職員は嫌という人には、女性職員が当たるようにしているが、今は、当然のように受け入れています）。		

### 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か ・常に利用者のことを考え、問題発生予防と情報を早く取り入れるようにし、些細な事故にも事故報告を行うとともに、事故報告書に記入し、事故防止に努めています。 ・サービスの質の向上を図るために、グループホーム事業者同士の連携をとりたくて考えています。色んな問題を現場のみにしないで、共有できるようにし、事故防止にも取り組もうと考えています。		